



市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策【国土交通省】

施策概要

電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の緊急輸送道路において、無電柱化を実施

効果

電柱の倒壊による道路通行止め等を防止し、迅速な復旧活動を実現

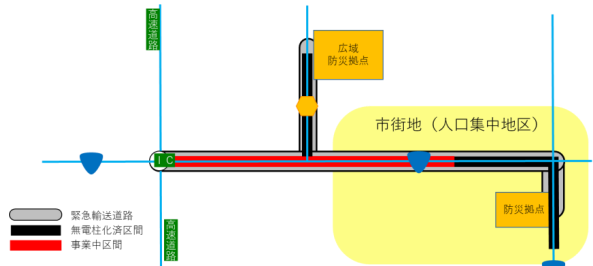
全国的な対策と効果

対策 市街地等の緊急輸送道路における無電柱化の実施

●緊急輸送道路とは？

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらをつなぐ基幹的な道路。

市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策のイメージ



地域防災計画等に位置付けられる緊急輸送道路において、電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等を対象として無電柱化を実施

【東京都環状7号線】

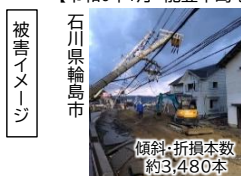


電柱の撤去により、道路の安全性を確保

5か年加速化対策の効果

電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路において、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防ぎ、大規模災害時の被害の軽減を図るとともに、救急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保

【令和6年1月 能登半島地震】



【令和7年9月 竜巻】



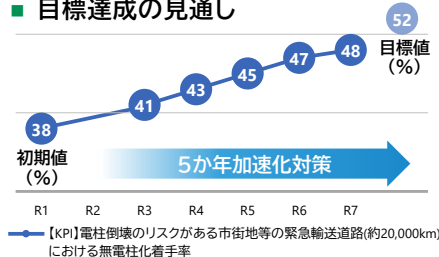
電線共同溝整備区間においては、電線類の断線は発生していない



■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

| | | |
|-------|-------|---------|
| R3 | R4 | R5 |
| 194億円 | 304億円 | 341億円 |
| R6 | R7 | 累計 |
| 143億円 | 124億円 | 1,106億円 |

■ 目標達成の見通し



整備事例

無電柱化により、災害時の緊急輸送道路の道路閉塞等の被害を防止する



国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所

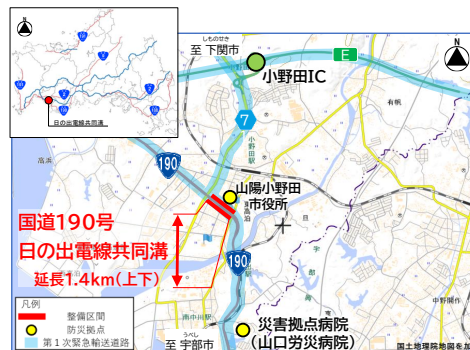


山口県山陽小野田市



国道190号
日の出電線共同溝

■ 位置図



■ 電柱倒壊イメージ



■ 事業費

14億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.9億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

国道190号電線共同溝(日の出電線共同溝)は、山陽小野田市の中心市街地に位置するとともに、小野田ICと災害拠点病院(山口労災病院)を結ぶ重要な路線となっていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防止する必要があります。

■ 事業の内容

電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路において、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図ります。併せて、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。



■ 見込まれる効果

無電柱化することにより、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防ぎ、大規模災害時の被害の軽減を図るとともに、救急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保します。また、電柱・電線がなくなることで、良好な景観が形成され、地域の魅力向上に寄与します。

| | | | |
|-----|---|--------------|---------------------------------|
| (1) | 1 | 人命・財産の被害最小化 | 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 |
| (2) | 2 | 交通・ライフラインの維持 | インフラの老朽化対策 |
| (1) | 3 | 施策のデジタル化 | 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 |
| (2) | | 災害関連情報の高度化 | |